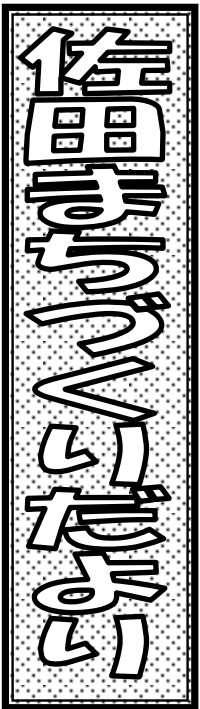


米神山巨石祭中止



第116号



スマホでカラー版が見れます

着々と進めていた第二九回米神山巨石祭の諸準備。

昨年とは雨にたたられ、今年こそは快晴の下、盛大にと意気込んでいた矢先、世間に広がる、新型コロナウイルスの感染拡大の影。

佐田地区最大のイベントである米神山巨石祭、県内外からもスケジューリングについての問い合わせがあり、新聞等でも紹介されてもいますと、開催に向けて本当に着々と進捗していました。

しかし、迫りくる影はほとんどん勢力を強め、事務局への問い合わせの内容が、スケジュール的なものから開催の有無の確認へと変化してきました。

そこで、二月二十七日（木）午前中に実行委員を招集し、緊急実行委員会を開催しました。

米神山巨石祭開催の是非

苦渋の決断

について審議した結果、人の生命身体の安全が一番。三月八日に予定していた巨石祭は、すべての内容を中止するという事に決定しました。

昨年の雨、今回の中止、と悔しさを一杯ですが、次回は記念すべき三〇回、今年こそはと気持ちを入れ替えていきますので、皆様のご協力をお願いします。

巨石祭は中止となりまして、これからは佐田を訪れ米神山登山を楽しまれる方がおられますので、三月二十九日に登山道整備と山開き神事を行います。

事前に山蔵地区の有志の方々がしめ縄を作ってください、女性部の皆様が佐田交差点の花壇の草取りを実施して下さいました。

携わって下さった方々、ありがとうございました。

緊急実行委員会開催

佐田っ子は元気だ。

コロナウイルス感染拡大防止の観点から、宇佐市内も小中学校の休校が決まり、佐田小学校児童も自宅待機を余儀なくされています。

そんな中、保護者の就労支援対策として、児童クラブを開設し、子供の見守り活動を実施しています。

家庭で過ごしている子供たちもそうでしょうが、児童クラブに来ている子供たちも時間を持て余して、ウズウズしている様子。

先日、校長先生が子供たちを連れ、支援員の先生とガードレールの清掃活動をしてくださいました。

子供たちにとって、外で活動できることは願ってもないこと。

それが地区への貢献に繋



支援員募集

がるとなればいうことなし。一生懸命清掃に励む姿を見て、さすが佐田っ子は元気だ、と感心しました。とはいえ、コロナウイルスが落ち着いたわけではなく、子供たちは、もうしばらく我慢の日々が続きます。早く小学校に賑やかな声が響き渡ることを願うばかりです。

児童クラブの運営を支えて下さるサポーター（支援員）の方々がおられます。通常であれば放課の三〜四時間子供の見守りをしてくれますが、今は八名の登録があり、ほぼ二日に一日の割合で朝からずつとフル活動、お蔭で保護者の方々も安心して勤めに出かけられていると思います。元気な子供たち相手に支援員の方も疲労の色が隠せません。どなたか支援員になってくれる方を募集しています。お問合せ（児童クラブ）〇九〇一九七九〇一七五一